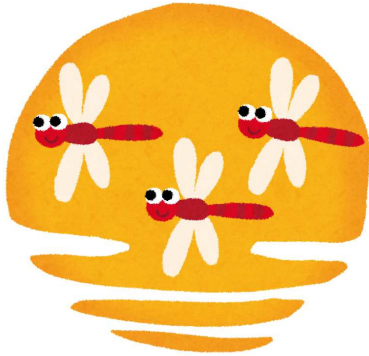


# さあ、芸術の秋、スポーツの秋の 始まりです！



先月の年次だよりで大事なことの3点

- ☆生活リズムを崩さない。 ☆見えている世界を大切にする。
- ☆新しい入試に対応できる力を身につける。

を挙げましたが、夏休み中に実践できましたか？

良かったところ、悪かったところ、それぞれ思うところはあると思いますが、休み明けの年次集会での皆さんの様子を見て少し安心しました。学力テストの疲れを残しながらも達成感に満ちた表情だったからです。

学力テストの結果もそれぞれ手元に戻っていると思いますが、いつも言っているように、点数を見て一喜一憂するのではなく、何がまずかったのか、そのためにこれからどうすべきかを考えて実践することが大切なのです。受験は全国大会です。西高での成績順位にとらわれることは賢明ではありません。

もう少しするとこの暑さも和らいでくると思います。夏休み前に比べて、夏休み以降は比較的落ち着いた生活が送れると思います。芸術に、スポーツに、もちろん勉強にじっくり取り組んでいきましょう。

## 【9月の予定】

日	曜	主な行事	日	曜	主な行事
1	日		17	火	A きずなの日 第2回定期試験時間割発表
2	月	A きずなの日 更衣調整期間(~10/31) 総合防災避難訓練実施週間(~9/6)	18	水	A 第3回マナーアップ運動 登校時指導
3	火	A 体育委員・HR長合同会議	19	木	A 登校時指導
4	水	A	20	金	A 登校時指導
5	木	A	21	土	
6	金	A 短縮45分授業 芸術鑑賞会	22	日	
7	土	オープンスクール	23	月	秋分の日
8	日		24	火	第2回定期試験
9	月	B	25	水	第2回定期試験
10	火	B	26	木	第2回定期試験
11	水	B	27	金	第2回定期試験
12	木	B	28	土	
13	金	B	29	日	
14	土	土曜講座	30	月	球技大会(雨天時はB週)
15	日		1	火	B 後期始業式報告会 短縮55分授業 自転車ステッカー点検実施週間
16	月	敬老の日			

## 保護者のみなさまへ

進路講演会への御出席、ありがとうございました。



保護者の皆様には、お忙しい中また猛暑の中8月17日のPTA進路講演会に御出席いただきありがとうございました。今の2年次生から始まる新しい大学入試制度について、さまざまな情報を得られたと同時に、新たな疑問等も持たれたのではないのでしょうか。

学校としても進路指導部を中心に、できる限り新しい、信頼性の高い情報を御家庭にお届けしたいと考えております。

また情報だけではなく、普段の授業や行事でも振り返りとそれをもとにした実践に重きをおいた指導を心がけております。御家庭でも御ご家族の経験やお考えなどをさまざまな角度から生徒たちに伝えていただくことが、思考力・判断力・表現力の養成につながりますので、引き続き御協力の程よろしくお願ひします。

## この夏休み、全国大会(インターハイ・総文祭)に出場した4人の仲間から、全国大会の感想など寄稿してもらいました。

インターハイとは「全国高等学校総合体育大会」のこと、今年は鹿児島県を中心に30競技がそれぞれの会場で熱戦を繰り広げました。総文祭とは「全国高等学校芸術文化祭」のこと、今年は佐賀県で19の部門の大会が行われました。どちらも地方大会を勝ち抜いて出場権を得る、高校生にとって最大規模の大会、祭典です。

インターハイは、全国大会ということもあり、今まで出ていた大会とは雰囲気の違い、とても圧倒されました。また、たくさんの強い選手から、様々な刺激を受けることができました。試合では、あまり良い結果を残すことはできませんでしたが、大きな舞台で演技をする中で、自分が成長できたことや、これからの課題を見つけることができました。長い期間大会に参加する中で学んだことを生かし、来年もインターハイの舞台に立ち、満足のいく結果を残せるように、日々の練習に取り組んでいきたいと思います。

南部九州インターハイ 2019 体操の部出場

1年1組 竹鶴 <sup>かざみ</sup>夏冴水

新聞部門は各県の代表がランダムに6人班に振り分けられ、佐賀県に関する新聞を作成するという内容でした。まったくの見ず知らずの高校生と協力して、1枚の手書き新聞を作成するには班内でのコミュニケーションがとても大切でした。「誰がどこの取材に行くのか」、「誰がどの記事を書くのか」など、一つのことを決めるのに黙ってはいけません。自分から積極的に意見を述べないと、より良い新聞は作れないのです。今回、その事を強く感じました。また、各校の優れた技術を多く学びました。今後の本校新聞作成に活かしていきたいと思います。

2019 さが総文 新聞部門出場

1年2組 山本 <sup>こうせい</sup>航世

初めて参加した全国的な文化祭は、私にとって新鮮な経験だった。2日間を通して打ったのは6局。その中で、自分の発想にない斬新な着眼点や巧妙な手筋がいくつもあり、はっとさせられた。自分勝手に先を読んでも無意味だと気付けたのは良い収穫だと思う。また、当日はひどい暑さだったにも関わらず、地元の高校生が道の随所に立って案内とともに元気な挨拶をしてくださった。さらに、会場での細やかな気遣いに感謝の気持ちでいっぱいになったのを覚えている。囲碁でも日常生活でも、肝心なのは相手の立場に立って考えることだ。これからは、多角的な視点で物事を捉えていきたい。

2019 さが総文 囲碁部門出場

1年2組 加藤 <sup>まゆき</sup>万結姫

私は、7月30日、31日に行われた2019さが総文の将棋部門に出場しました。さが総文に出て、1番嬉しかったことは中学生の時以来の他県の友達に再会できたことです。その人たちとは中学生の時に出場した、将棋の全国大会で出会いました。他県の代表との交流は将棋を続けていく励みになると感じました。また、緊張している中で「頑張れ」と応援をしてくださった人がいたことが励みになりました。そして、全国大会という場で対局ができたことが貴重な経験になりました。来年も総文祭に出場できるように頑張りたいと思います。

2019 さが総文 将棋部門出場

1年3組 藤森あかね